

令和元年度 モデル事業 取組 空き家再生WG

事業のポイント

- ・出雲市内で空き家が増加の一途をたどるなか、「NPO法人ひらた空き家再生舎」が主導となり、平田地域での空き家再生ワークショップを通して空き家改修・利活用におけるビジネスモデル構築を検討し、平田地域の活性化と地域内経済循環を図る。

基本情報

- ・WG名 : 空き家再生WG
- ・活動テーマ : 地域内での資金循環の促進
- ・モデル事業名 : 空き家利活用による移住・定住促進とビジネスユースの拡大事業
- ・事業概要 : 空き家利活用による若者の定住促進、地元工務店等の参画による空き家改修のビジネスモデル構築に向けた検討

課題

- ・市内で空き家が増加している。
- ・空き家の売買・賃貸借におけるマッチングスキームがない。
- ・空き家をシェアオフィスやコワーキングスペース、ゲストハウス等のビジネスユースとして活用するモデルを構築したい。
- ・空き家再生を通して、平田の街を活性化したい。

そこで、

松江と出雲の中間地という平田地域の地理性を生かし、市民参加型空き家再生ワークショップ（残置物撤去・修繕・改修等）を開催して空き家の商業利用や移住・定住の促進を図り、地域内経済循環につなげる仕組みづくりを検討する。

初年の取組内容

- ・SNSを介して集まった空き家・空き店舗活用に関心のある参加者と協力し、平田木綿街道内にある空き家の空き家再生ワークショップを開催した。
- ・島根県立大学出雲キャンパスに通う学生を対象に、シェアハウス利用を想定した空き家のモニターツアーを開催した。
- ・空き家のビジネスユース活用の仕組みづくりを検討するため、先進地の取組を学ぶ研修会に参加した。

取組成果

- ・地元設計事務所やひらた空き家再生舎が中心となり、空き家再生ワークショップやシェアハウスモニターツアーの企画・立案などを積極的に行った。
- ・空き家再生ワークショップを行った結果、店舗として利用したいとの問合せがあった。今後、入居に向けて利用希望者と協議を重ねていく予定。
- ・シェアハウスモニターツアー開催後に行った県立大学生を対象としたアンケート調査の結果から、シェアハウスへの居住ニーズがあることが分かり、大学側と入居に向けた本格的な計画策定に着手することとなった。

活動の様子



空き家ワークショップ参加募集チラシ



空き家ワークショップ開催の様子



シェアハウスモニターツアー参加募集チラシ



シェアハウスモニターツアー
開催の様子

ワーキンググループ構成員の声

- ・空き家改修ワークショップの参加者の意見や考えを聞いたことで、空き家の利活用に興味・関心を持つ人が多くいることが分かり、今後の活動の方向性を決めるうえで非常に参考となりました。
- ・シェアハウスモニターツアーを県立大学と協力して実施し、学生に対しシェアハウスの魅力や平田の街の利便性を伝えることができたので良かったです。
- ・平田の空き家利活用のノウハウやスキームを地元工務店や各関連団体と協力して構築し、将来的に出雲市の空き家利活用の礎となるように取り組んでいきたいです。